

いじめが起こりやすい・起こっている集団

- 朝いつも誰かの机が曲がっている
- 掲示物が破れていたり落書きがあつたりする
- 特定の子どもに気を遣っている雰囲気がある
- 学級やグループの中で絶えず周りの顔色をうかがう子どもがいる
- 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある
- 授業中、教職員に見えないようにいたずらをする
- 教職員がいないと掃除がきちんとできない
- グループ分けをすると特定の子どもが残る
- 些細なことで冷やかしたりするグループがある

いじめられている子

◎日常の行動・表情の様子

- わざとらしくはしゃいでいる
- 下を向いて視線を合わせようとしない
- 早退や一人で下校することが 増える
- 腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる
- いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている
- 友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする
- おどおど、にやにや、にたにたしている
- 顔色が悪く、元気がない
- 遅刻・欠席が多くなる
- ときどき涙ぐんでいる

◎ 授業中・休み時間

- 発言すると友だちから冷やかされる
- 班編成の時に孤立しがちである
- 学習意欲が減退し、忘れ物が増える
- 決められた座席と違う席に座っている
- 一人でいることが多い
- 教室へいつも遅れて入ってくる
- 教職員の近くにいたがる

◎ 昼食時

- 好きな物を他の子どもにあげる
- 食事の量が減ったり、食べなかったりする
- 教室で一人離れて食べている
- 他の子どもの机から机を少し離している
- 食べ物にいたずらされる
- 昼食時になると教室から出て行く

◎ 清掃時

- いつも雑巾がけやごみ捨ての当番になっている
- 一人で離れて掃除をしている

◎ その他

- トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる
- 持ち物が壊されたり、隠されたりする
- 部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す
- ボタンがとれたり、ポケットが破れたりしている
- けがの状況と本人が言う理由が一致しない
- 必要以上のお金を持ち、友だちにおごるなどする
- 持ち物や机、ロッカーに落書きをされる
- 理由もなく成績が突然下がる
- 服に靴の跡がついている
- 手や足にすり傷やあざがある

いじめている子

- 多くのストレスを抱えている
- あからさまに、教職員の機嫌をとる
- 教職員によって態度を変える
- グループで行動し、他の子どもに指示を出す
- 活発に活動するが他の子どもにきつい言葉をつかう
- 教職員が近づくと、集団が黙り込む
- 家や学校で悪者扱いされていると思っている
- 特定の子どもにのみ強い仲間意識をもつ
- 教職員の指導を素直に受け取れない
- 他の子どもに対して威嚇する表情をする
- 発言の中に差別意識が見られる
- 教職員が近づくと、集団が分散する

	職員会議等	未然防止に向けた取り組み	早期発見に向けた取り組み
4月	いじめ対応チーム 指導方針・計画作成	入学前の中学校との情報交換	個別面談 生活実態調査
		1年オリエンテーション	
		学級づくり(校外学習)	
5月	保護者向け啓発	職員研修会	
		カウンセリング研修	
6月		地域との交流(文化発表会)	公開授業
		地域行事参加	
7月		故郷クリーンアップ	いじめアンケート
		ネット犯罪防止講演会	学校評価アンケート 三者面談
8月		地域夏祭り参加	
9月			個別面談
10月		人権講演会	公開授業
		防災訓練、講話	
		花いっぱい運動	
11月		人権学習	人権教育アンケート
		地域清掃	いじめアンケート
12月		人権学習	学校評価アンケート 三者面談
1月			個別面談
		人権学習	
2月			いじめアンケート
3月	いじめ対応チーム 本年度のまとめ		生活実態調査
		新年度に向けたクラス編成	

職員会議等

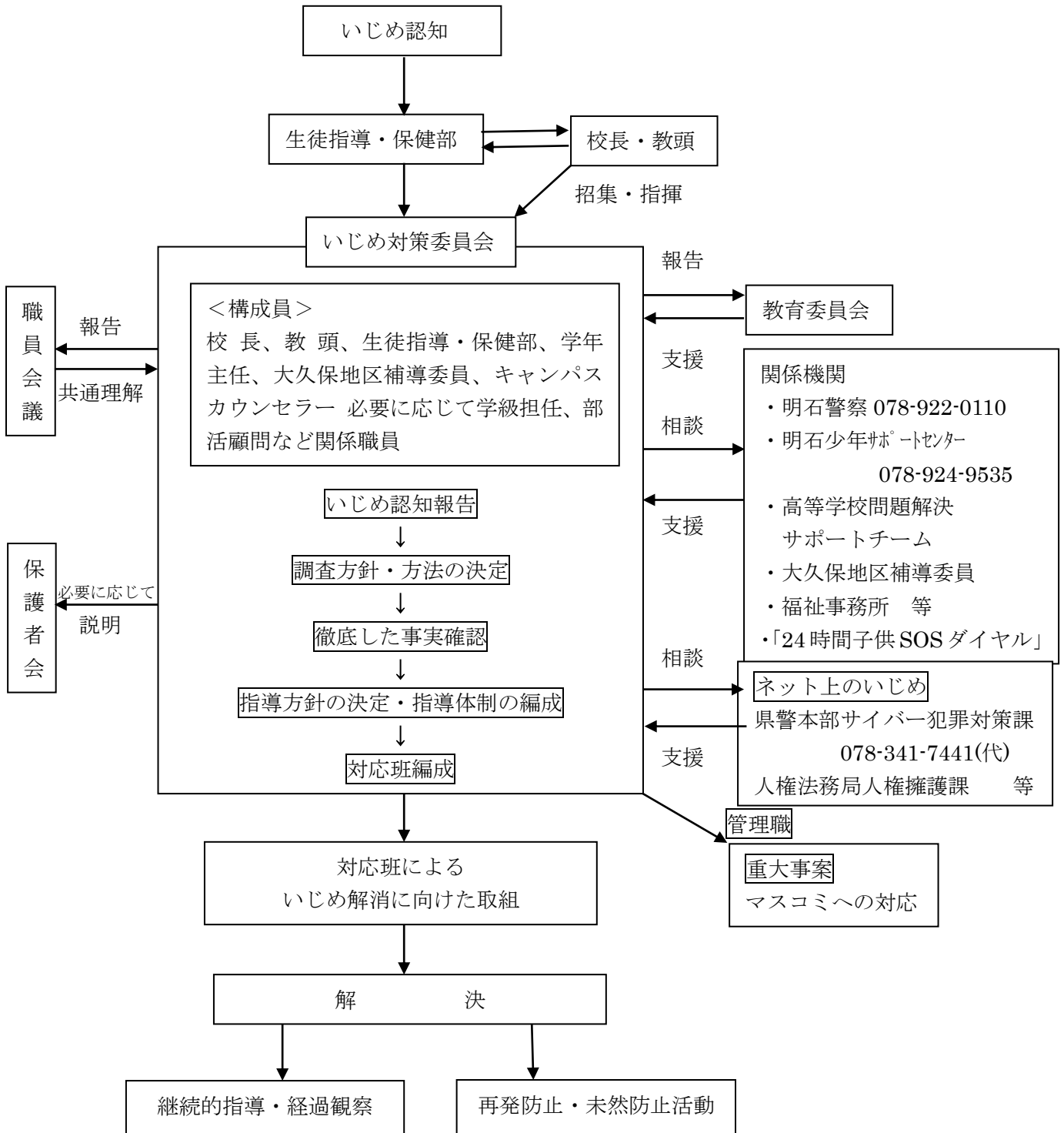
- 全職員が生徒の情報交換、要配慮生徒への注意事項などについて周知徹底を図るため拡大学年会議を実施する。

未然防止に向けた取り組み

- 入学前に中学校との情報交換をする。
- いじめを許さない学校づくりを進める。
- 年間を通じて、登校時のあいさつ運動を実施する。
- 定期的に登下校指導を実施する。
- 定期的に昼休みの巡回指導を実施する。
- 生徒会を中心に赤十字募金地域清掃活動などのボランティア活動を実施する。
- 「花いっぱい運動」生徒会、生徒有志、PTAを中心に花を栽培しプランター等で学校周辺地域の緑化を図る。
- 身体障害者施設・高齢者介護施設・福祉施設訪問・学校設定科目「ボランティア実践」において実践をしながら福祉を学ぶ。
- 明石市内7校生徒会で連携し、交通マナー、規範意識の向上に取り組む。
- 教育相談の実施と充実。

早期発見に向けた取り組み

- いじめアンケートは生徒が記入しやすい形態で年3回実施する。
- 個別面談だけではなく、生徒の日常の微妙な変化に対応する。(朝のあいさつ運動)



- 被害者やいじめを知らせてくれた生徒等に十分配慮し、事実確認をする。
 - ・ いじめを発見した時は、ただちに加害者、被害者の双方から事実関係を聞き取り、聞き取った内容については周辺生徒からも状況を聞き取る。
 - ・ 必要に応じて、全校あるいは全学年のアンケートを実施する。
- 双方の保護者に説明をする。
- 双方の保護者と関係職員を交えて、関係改善を行うとともに、傍観者への指導も行う。